

市民公開シンポジウム

第1回「日本の医療技術の世界と比較する」
—日本の手術は世界一か？

主催：外科系学会社会保険委員会連合（外保連）

後援：厚生労働省、社団法人日本外科学会

日時：平成22年1月10日（日）14:00～16:00（開場13:00）

会場：東商ホール 東京商工会議所ビル4階
（東京都千代田区丸の内3-2-2）

参加料：無料。事前受付等はありません。
多くの方のご参加をお待ちしております。

問い合わせ先：

〒105-6108 東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービル8F
社団法人日本外科学会内 外科系学会社会保険委員会連合
TEL:03-3459-1455 FAX:03-3459-1456
E-mail:office@gaihoren.jp URL:http://www.gaihoren.jp

市民公開シンポジウム

第1回「日本の医療技術を世界と比較する」

—日本の手術は世界一か？

日 時：平成22年1月10日（日）14時～16時（開場13時）

会 場：東商ホール 東京商工会議所ビル4階（東京都千代田区丸の内3-2-2）

【シンポジウムの経緯】

皆様は、日本の医療技術、中でも特に手術のレベルが国際的にどのような位置にあるのかご存じでしょうか？外保連は加盟学会に呼びかけて、科学的な比較検討を行いました。その結果、日本の多くの手術が国際的にもトップレベルにあることがわかりました。これは多くの外科医が昼夜を惜しまず研鑽した成果と考えられます。しかしながら、外科系医師の職場環境は決して恵まれておらず、多くの若い外科医たちが病院から立ち去りつつあります。このような外科医不足の状況が続けば、日本の手術レベルは近い将来間違いなく低下します。この事実を広く国民の皆様にご理解いただき、日本の外科医療の崩壊を阻止し、外科医の技術を維持、さらに発展させるために本シンポジウムを企画いたしました。

【プログラム】

第1部 講演（午後2時～3時10分）

1) 特別講演

司会：河野 匡（外保連広報委員会副委員長 虎の門病院呼吸器センター外科）

鳥越 俊太郎（ジャーナリスト）

「私が受けた日本のがん医療」

2) シンポジウム：「日本の医療技術を世界と比較する」

司会：松下 隆（外保連広報委員会委員長 帝京大学整形外科）

：山口 博弥（読売新聞東京本社編集局医療情報部）

*大腸がん 前田 耕太郎（藤田保健衛生大学外科）

*肺がん 呉屋 朝幸（杏林大学外科）

*子宮頸がん 櫻木 範明（北海道大学生殖内分泌・腫瘍学分野）

*骨肉腫 岩本 幸英（九州大学整形外科）

追加発言 岩中 督（外保連会長補佐 東京大学小児外科）

第2部 総合討論（午後3時15分～3時50分）

司会：松下 隆（外保連広報委員会委員長 帝京大学整形外科）

：山口 博弥（読売新聞東京本社編集局医療情報部）

：木村 泰三（外保連会長補佐 富士宮市立病院）

討論者：鳥越 俊太郎、前田 耕太郎、呉屋 朝幸、櫻木 範明、岩本 幸英、岩中 督

特別発言

出月 康夫（外保連名誉会長 東京大学名誉教授）

（敬称略）

<地 図>



会場案内

会場：東商ホール 東京商工会議所ビル4階 (東京都千代田区丸の内 3-2-2)

交通のご案内:

- 都営三田線日比谷駅より徒歩2分
- 千代田線二重橋前駅より徒歩2分
- 日比谷線日比谷駅より徒歩8分
- 有楽町線有楽町駅より徒歩3分
- 丸の内線東京駅より徒歩10分
- JR有楽町線有楽町駅から徒歩5分
- JR東京駅丸の内南口から徒歩10分
- JR京葉線東京駅から徒歩5分